

知財の広場

知財関連メルマガ…雑感

よく読んでいる特許庁のメールマガジンと「日刊知財」（パテントサロン）のピックアップ記事を読んでの雑感です。

- 特許出願等統計速報（令和3年12月分）の（3）参考グラフ（PDF：928KB）
https://www.jpo.go.jp/resources/statistics/syutugan_toukei_sokuho/document/index/202112_sanko.pdf ※特許庁ホームページ 掲載資料



ほぼ毎年度末に特許出願のピークが現われます。心電図のようで見事です。発明とは、本来時節とは無関係だと思うのですが・・・。
最近読んだ本（下記）のことも頭にあり気になった記事です。
「オオカミ特許革命 事業と技術を守る真の戦略」 田所 照洋（著）

- 「シャインマスカットもいずれ廃れる」日本の農産物のブランド戦略に圧倒的に足りない考え方…「美味しい」だけではダメ ※PRESIDENT Online 2022/01/18 の記事
<https://president.jp/articles/-/53584>



野口 憲一 氏（民俗学者）曰く「日本の農作物も独自の消費文化や記号的価値を創造せよ」と。

適地適作によるブランド価値を創造する考え方（地理的表示による保護）とそれらを評価・受容する“消費文化”の両方が必要と感じた記事でした。

- 独立しても仕事が次々舞い込む高杉真宙 関係者は「商標登録問題が深く関係」と指摘 ※デイリー新潮 2022/03/21 の記事

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8d4ea38126e369949a53f61be134b25707a9979f?page=1>



タレントと元所属エージェントとの間の係争沙汰を回避するとともに、タレントの“知的資産”を保護しつつ独立を後押しする登録商標！ 最近受講したセミナー講師の言葉を思い出しました。

“知的資産”＝その人が居なくなればなくなる？！否、なくなる前に商標権、特許権、ノウハウ集、契約書などで保護して残しましょう。



登録商標第 6176037 号「高杉真宙」